

新嘗祭「丹後王国に甦った赤米 古代の稲」

丹後国一の宮 元伊勢籠神社で毎年11月23日に 斎行される「古代赤米新嘗大祭」に列席させて頂き ますと、参列者のみに神授される貴重な古代米で設 えられた『十種之神丹穂(とくさのかんにほ)』という 稲穂の一束を(ドライフラワー状態である)が神様

の撤下として頂く事が 出来る。

元伊勢籠神社奉納米 として籠神社神饌田・ 田造長香山幸生様が 心を籠めて生産され た物で「丹後王国に 甦った赤米 古代の 軽されは実に尊く栄 な神饌であります。



← 十種之神丹穂(とくさのかんにほ) 2束ある左側が神授した物で日陰鬘(ヒカゲノカズラ)が懸けられています。 右側は田造長 香山様からの物で十種之神丹穂と認められた木札が副えられています。

の新しい生命力溢れるエネルギーを充電させていただきました。大変な賑わいの中、祭典が斎行され、祭式に先立ち籠神社神饌田田造長香山幸生様により十種之神丹穂が竹の花瓶挿しに活けられ、

> 様と人間との共同作業で育まれた食物が詰め込ま

れた「膳」を心より感謝しながらいただき、神様から

十種之神丹穂が竹の 花瓶挿しに活けられ、 日陰鬘(ヒカゲノカズ ラ)が懸けられて御神 前に献上穂されまし た。大祭なのでオォー という警蹕とともに御 扉が開かれ厳粛なる 祭式が粛々と行われて ゆきました。

一時間程の祭典が終

わり、改めて新嘗祭の心、日本の稲作文化伝統の素晴らしさを感じ、感謝の心を蘇えらせた時間でした。

一の宮巡拝会 代表世話人 塩原 輝昭

此処数年、毎年参列させて頂き、一の宮巡拝会代表と して玉串奉奠もさせて頂いております。

新嘗の祭りなので当然祭典後の直会の席では、神ノ

この後文は、籠神社宮司海部光彦様のあいつさつから引用させていただきました。 [籠神社の新嘗祭には全国各地から赤米や白米なども奉納されます。 お米を作るのは人間ですが、それを稔らせるには、日(太陽)と月(水)の恵みが必要となります。 月は古来水の徳があるとされ、水は生きてゆくために必要な食料の中で第一番目に挙げられます。 そのため月は、「水を司る神」から「御饌津神」そして「食を司る豊受大神」になぞらえられるようになりました。 日神と月神は二神一座で天上より太陽と水を地上に恵み、人間を始め生きとし生けるものの生命を守護し、 我々に食物を授けて下さっています。]……

入会を希望する方は各事務局へご連絡ください。

一の宮巡拝会 本部事務局

〒111-0055 東京都台東区三筋1-12-12第一大津ビル(株)アルプス・タカス内電話:03-5823-3901 ファックス:03-3865-2135 E-mail:junpai@alpst-net.co.jp

一の宮巡拝会 関西事務局

〒595-0024 大阪府泉大津市池浦町 2-8-17 髙寺 壽 内電話:080-3108-4881 ファックス:0725-22-4040 E-mail:takaderahachirobe@nike.eonet.ne.jp



椿大神社&伊勢参宮・全国交流会 報告

10月11日~12日に一の宮巡拝会の全国交流会が実施されました。

名古屋駅集合から伊勢國一の宮・椿大神社「秋季大祭」に参列させて頂きました。午後からは、猿田彦大神の強 い導きの氣を頂き神宮へ向かいました。外宮で神楽を奉納し御垣内参拝を厳粛な意で拝礼させて頂きました。 伊勢の食事処で人気の高い「きくよし」さんで、総会と懇親会が行われました。宴の盛り上がりと共に、中締めは 木曽の池田木材社長で当会特別会員で有られる池田聡寿様に、木曽木遣りと三本締めでお開きとなりました。 翌日の内宮早朝参拝は目映い太陽神のお出迎えと共に、まことに神々しい御垣内参拝をさせて頂きました。 ホテルに戻り朝食を済ませて、志摩国一の宮・伊射波神社に向いました。中村宮司様はじめ安楽島氏子会の 皆様には大変気持良く迎えて頂き感謝で御座いました。その後、伊雑宮〜天ノ岩戸瀧は国道からのウォーキン グで拝観し、次の月読宮四社を参拝して、最後に倭姫宮を自由参拝してから伊勢市駅に戻りました。

充実した伊勢参宮が出来ました事は、ご参加皆様の御協力のお蔭と感謝致す次第です。

高尾 仁美 -神奈川県鎌倉市-

まず初めに、今回の全国交流会に際して、大変なご準 備を頂き、私たちが安心して旅を楽しめるよう隅々まで行 き届いたお心遣いをして下さった塩原代表、各ブロックの 世話人様に心より感謝申し上げます。

また、ご一緒させて頂きましたご参加の皆さまにお礼申し 上げます。お陰様で、心に残る大切な思い出が一つ増えま した。有難うございます。

折しも交流会の数日前、相模國一の宮 寒川神社でおみ くじを引いた際に、「旅行 経験豊富な仲間と一緒に。」と ありましたので、神様からのお墨付き。今回の参加を本当 に心待ちにしておりました。こちらでは、特に印象に残った ことをご紹介して行きたいと思います。

第一日目、最初に訪れた椿大神社では、境内の大きな看 板に「強い信仰心をもち一瞬も休まず働こう」と書いてあ るのを目にして、深く感銘を受けました。次に、例大祭に 参加させて頂き、珍しい神楽を拝見致しました。宮司様の お話中に「足るを知るという事は私たち人間の性である」 というお話があり、自分自身を見つめる機会を頂きました。 内宮・外宮では、生まれて初めての御垣内参拝をさせて 頂き、大変感動致しました。特に内宮の早朝参拝では、ま さに天照大神様そのものである朝日に照らされながらの 参拝で、すがすがしさの中に神様に対する畏敬の念も感 じ、改めて今回の交流会に感謝致しました。

二日目に正式参拝させて頂いた伊射波神社は、お宮ま での道のり(約1.3km)の山道で美しい海を見たり、緑溢 れる参道を楽しく歩いたのですが、喘息持ちの私には思 いのほか厳しく、途中で幽体離脱しそうになりながら、何 とかお宮に辿りつくことが出来ました。正式参拝では、皆 様で東北大震災の復興祈願祝詞を唱和致しました。わざ わざ宮司様が正式参拝をさせて下さったそうで、また貴重



椿大神社参道





椿の舞・巫女4人舞



事務局 塩原

舞楽・蘭陵王



椿大神社正面参道



椿大神社境内 神輿を前に神幸祭の説明



椿岸神社 御祭神 天鈿女命



直会場にて

な体験をさせて頂くことが出来ました。

いつもは、仕事や子育てで忙しく、なかなか参加出来ずに おりますが、今回思い切って参加させて頂き、一の宮巡拝 会全体の「風」を感じることが出来ました。ますます巡拝 が楽しみになったと同時に、この出会いとご縁に心から感 謝致しました。今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。

有本 勝彦 一静岡県浜松市-

「伊勢参宮・全国交流会」 に参加させていただき、有難う ございました。

私と家内にとっては、初めての経験となった椿大神社への参拝と秋季例大祭への参加、伊勢神宮内宮、外宮の御垣内への参拝、月読宮・四宮参拝、倭姫宮、天岩戸などなど、どれもこれも、新鮮なオドロキとこころにしみいる感銘の連続でございました。伊射波神社での大祓詞と東日本大震災復興祈願祝詞の唱和では

「・・・大和島根を 清き美しき本来つ皇国姿に 立返らしめ給へ・・・」と、お祈りいたしました。得難い経験を与えてくださいました一の宮巡拝会の皆様にこころから感謝いたします。

宇治橋を渡り、神域の境内の玉砂利に足を踏み入れます。塵ひとつない参道、五十鈴川の澄んだせせらぎ、のびのびと枝をのばす木々、降り注ぐ木漏れ日にこころを洗われながら、素木造りの正宮に至ります。虚飾を拝した、無駄のない美しさに、日本人の原風景を強く感じます。日本人のものの考え方、生活様式、はては文化におおきな影響をもたらしていることを実感します。外宮の御垣内の参拝時にも、同様の感覚を持ちました。白と朱色の衣装に身を包んだ巫女の動作に、優雅の中にも無駄のない動きを感じ、こころが安らぎました。現代日本の忘れかけている「質素」「シンプル」の言葉の重さをあらためて認識した次第です。西行の「何事の おわしますをば 知らねども

かたじけなさに 涙こぼるる」の世界をかいま見た思 いです。

神様を美しい御殿でお祀りしたいという、感謝の気持ちから始まった「式年遷宮」は1300年も前から続いています。社殿を始め、御装束や神宝にいたるまで、すべてを新たに作り替え、大御神様に新宮へお遷りいただく「式年遷宮」は、清々しさと共に、神も人も常に輝き若々しくありたいという「常若」の思想に、深く共感を覚えました。

椿大神社の秋季例大祭は、この種の例大祭に参拝するのは初めてで、社殿を埋めつくした人々の神様への信仰の深さ、篤さに深く感銘を受けました。ただ、やむを得ぬこととは言え、人が溢れ、神事がよく拝見出来なかったことは、非常に残念でした。信奉者が多いということは慶賀すべきことかもしれません。伊勢神宮の方角を向いて立つ拝殿、裏には短山と高山が連なります。巨木と岩と横広がりの社殿、神々しさの漂う参道など、私の見聞した境内で最もこころの惹かれるものでした、いつか、冷気に包まれた澄んだ空気が漂い、鳥の声と隣りの沢の音だけが聞こえる、生命力溢れる早朝にお参りしたいと考えています。

懇親会は愉快なものでした。関東ブロック世話人の村上さんと私の両隣に座ったお二人の間の、神様の奥深い世界についての会話は、聞くだけの私にとっては楽しいものでした。村上さんの神様の裏の世界についてのお話は、私に神様をより身近に、血の通ったものにしてくれました。また、今回の参拝を通じて参加した皆さんの神道についての奥の深さを思い知りました。知識の豊富さは勿論のこと、神様が生活に溶け込んでいることを深く感じました。私などはまだまだと自戒しております。

秋も深くなってきました。ご自愛のうえ、御元気にお過ごしになるよう願っています。また、お会いできるのを楽 しみにしてます。





外宮 御垣内参拝前 蕃塀と参入心得の説明



外宮 手前は古殿地



外宮 境界を守る四至宮を拝す



斎王まつりの群行に出合う



懇親会中締めは三本締め



「きくよし」 交流・懇親会 開会乾杯



懇親会のトリは池田聡寿様の木遣りで

植松 民子 -大阪府吹田市-

「伊勢参宮・全国交流会」巡拝の旅ではお世話になり、 ありがとうございました。

とても感動的な2日間で、クラブツーリズムの巡拝とは また違った奥深いものがありました。参拝中に何度も何度 も涙が出て困りました。

原稿の依頼を受け、その大任に少々戸惑いましたが、思 ったままに書かせていただきました。また、皆様にお会い できます日を楽しみにしております。

日一日と秋の深まりを感じるこの季節、一の宮巡拝 会の「伊勢参宮・全国交流会」に初めて参加させて頂き ました。

今回の巡拝の旅は、私にとって忘れられない感動の旅 となりました。予てより椿大神社には参拝させていただき たいと願っておりましたが、その願いが叶い椿大神社の秋 の大祭に参列させていただくという幸運に恵まれました。 綿々と受け継がれている神事の崇高な雰囲気と進行を間 近で拝見する機会は、とても貴重な体験でした。

伊勢神宮外宮・内宮での参拝は、私自身も今まで何度 も訪れていましたが、御垣内参拝をさせて頂くのは初めて です。畏れ多い気持ちと神様への感謝の気持ちとが相ま って御敷地内の石の上を歩かせていただきました。

内宮参拝は早朝の6時でしたが、青く澄み切った空とす がすがしいご神気に満ちた神宮の森を歩いていたとき、 ふと平安時代の歌人西行が詠ったと伝えられている短歌 がうかんできました。

「何事の おわしますをば 知らねども かたじけなさに 涙こぼるる」

900年近い時は流れましても、この瞬間にも西行の感 動を理解することができ、また私自身も感動に包まれて、 涙があふれてきました。日本に生まれてきて良かったと心 から思えるのです。そして、今日まで元気に過ごしてこられ たことに、ただただ「ありがとうございます」の言葉しかあ りませんでした。塩原代表の神宮や神社境内での要所要 所における詳しいご説明は、教えていただくことが多く勉 強になりました。

その後参拝しました伊射波神社では全員で「大祓詞」と 「東日本大震災復興祈願祝詞」を唱和しましたが、その 事も忘れることができません。

最後になりますが、会員の皆様との交流の時間も楽し いひと時でした。気さくに話かけていただき、神社の話は もとよりいろいろな体験談を聞かせてもらう中で、一緒に 笑ったり共感したり会話も弾み心温まる思い出です。会員 の皆様との新たな出逢いにも感謝いたします。

神様は面白いことや楽しいことが大好きだと聞いたこ とがあります。私達もまた今生の人生を楽しむことは大切 だと思います。

気がつけば今回の巡拝の旅では、私自身が心身ともに 癒されていたように感じます。幸せな2日間であったと改 めて思い返しています。ありがとうございました。

山本 ゆみ子

-和歌山県和歌山市-

10月11日 8時45分 名古屋駅の銀の時計前に北は 北海道、南は九州、関東、中部、関西方面からの参加者 29名が集合してバスにて、伊勢国一の宮 椿大神社へ向か い秋季大祭に参列しました。

このような大祭への参列は初めての体験でした。古式 ゆかしい、巫女、蘭陵王の舞に見入ってしまいました。椿 会館で昼食をいただき、伊勢神宮外宮、御神楽奉納から 御垣内参拝へと向かいました。

外宮に足を踏み入れた時のこと、薄靄につつまれた境 内は、とても静かで幻想的で「何事の おわしますをば 知らねども…」といった感覚に包まれ、心が震えました。



早朝の宇治橋東詰側から



宇治橋 上からの清流五十鈴川



内宮 御正宮 階段



正宮西北の隅に鎮座する興玉・宮比神を板垣越しに遙拝



清朝の五十鈴川と手水処



五十鈴川で手水



御正宮前階下の蕃塀と御贄調舎



神宮最古の擬宝珠 風日祈宮橋

何ごとかを信ずる心とでもいうのでしょうか。

神道には全く無知で、霊的なものへの感性もとても鈍 く、深い信仰心がある訳でもない人間なのです。108社の 神社の御朱印を集めるスタンプラリーの軽いのりで、一 の宮巡りを旅のテーマに選んだこの私が「すぐれてあやし きもの」を感じたのです

10月12日 内宮早朝参拝

早朝の内宮はとてもすがすがしい氣にみちていました。 五十鈴川で身を清め、瀧祭神、風日祈宮と進んだ辺りで 木々の間より朝日が差し込んできました。内宮で浴びる朝 日はとても新鮮でした。早朝の御垣内参拝を終え、ホテル で朝食をとり、志摩国一の宮・伊射波神社へ向かいまし た。右に美しい海岸を見ながら息を切らせながら坂道を 登り伊射波神社につきました。ここで代表の塩原さんの 先導のもと大祓詞と東日本大震災復興祈願祝詞を参加 者全員で唱和しました。このような経験も初めてだったの で感動しました。ただ慣れない祝詞は難しかったです。 その後、伊雑宮、天ノ岩戸禊瀧、神宮別宮・月読宮(四宮) 参拝、時間の関係で倭姫宮を参拝し、倭姫の御陵は車中 より杜をみただけに終わりました。16時 伊勢市駅に到着、 解散となりそれぞれ各地へと帰路に着きました。 今回の巡拝に参加させていただいて沢山の事を感じ、経

代表やKさんより、神様にお参りする際の二拝二拍手 一拝の前に「揖」というお辞儀をするというお話は形から 入り心をこめることの大切さを教えて頂いたのだと思って います。あれ以来お参りの前に教えて頂いたようにしてい ます。この自然の中で生かされ人智を超えた大いなる力に

やはり伊勢の地はどこか違うなと思いました。訪れた宮 々はどこも「森閑」とした神氣のようなものがただよって いたように思います。

感謝し畏れることの大切さも感じました。

羽田 靖子 一北海道札幌市一

初日(10月11日)伊勢国一の宮椿大神社の秋季例大祭 に参列のため、名古屋駅より鈴鹿市へ向かう。猿田彦を 祭神とする全国2000社の本宮である。大祭らしく提灯等 で飾られた参道は、多数の参拝者で賑わい、特に七五三 の家族連れに目をひかれた。内拝殿に多数の参列者が集 い、宮司のお言葉、雅楽や舞、来客者の玉串奉納など、目 で見る事が出来ない席ではあったが、厳かな祭典の雰囲 気を全身で感じることが出来た。90分の祭典は、雨木を 含んだ社の冷気で身体の芯まで冷え切ったが、全身が洗 われた感じですがすがしい。行満堂や鈿女本宮・椿岸神 社等を参拝し、神宮の外宮へ向かった。正宮での御垣内 参拝を終え「きくよし」での交流懇親会に望む。参加者は 全国から集まった29名。車内で自己紹介が終わっていた ので、美味しい食事をいただきながらの談笑。

2日目(10月12日)内宮の早朝参拝から始まった。宇治橋 を渡るとそこは"神"の世界。五十鈴川の清流で身を清め正 宮へ。折しも木々の隙間から神々しい朝陽がさしてきた。 御垣内参拝。玉砂利を踏む音で一層心身が引き締まる。 朝食後は伊射波神社へ向かう。晴天の下、整備された山 道を、穏やかな海を眺めながら約20分登る。古くて小さ な社だが、宮司や地元の人達の人柄にも触れ、何とも心が 大きく開かれた感じ。全員で大祓詞と東日本大震災復興 祈願祝詞を唱和。その後、伊雑宮参拝を経て天ノ岩戸へ。 駐車場から参道を歩くこと30分。 禊の滝の力強い音を聞 きながら石段を登ると祠がある。「古事記」では、天照大 御神が隠れたといわれ、他に高千穂、元伊勢等にその名が ある。月読宮(四宮)と倭姫宮を参拝し、伊勢市駅で解散。 昨日、外宮火除橋の前で、"斎宮群行"に出逢った。今回の一 連の神社参拝に連絡する如く、花を添えられたようでとて も感激した。世話人の人達に心からお礼を申し上げます。



験させていただきました。

内宮 第一の別宮 荒祭宮拝礼



踏まずの石 (天の字に見えると伝)



宇治橋守神坐擬宝珠に刻字有り



宇治橋の守護神(饗土橋姫神社神)を祭る第二擬宝珠



伊射波神社が鎮座する加布良古岬



参加者全員で祝詞唱和



伊射波神社 中村宮司様と記念撮影

一の宮巡拝を始めたのは偶然であった。十一年前に明治 天皇陛下の事を知ったご縁で、日本を旅する際には神社を お参りする様に心掛けた。当初は観光・見学として参った が、神社というものについて、まだ何にも知らなかった状態 だった。

一の宮めぐりの旅を始めたきっかけは六年前の年末 (21.12.29日)に賀茂御祖神社へ参拝に訪れ、全国一の宮 朱印帳と出会ったことからであった。当時、まだ来日してい

なかったので、正直完拝でとは夢にも考えなかった。 最初は各地の有名な観光 行くうちに、その近所に一 があれば、せっかく近所に

二荒山神社 奥宮への登山口 中宮祠登拝門

っても、一の宮神社は広い杜 に囲まれ、神域の清々しさに とても感心させられた。

三年前に来日することにした時には、知らず知らずの内に、約五十社を廻り終えていたので自分さえ驚いた。ちょ

であった。 当時、まだ来日してい なかったので、 正直完拝できる

最初は各地の有名な観光地へ 行くうちに、その近所に一の宮 があれば、せっかく近所にいる のだからとの思いで参拝に行っ た。田舎にあっても、都市にあ



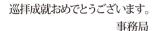
男体山頂上に鎮座される 二荒山神社の奥宮

うどそのとき、日本文化興隆財団が第一回神道文化検定 (神社検定)を開催し、受験のため、神道の知識を正式に学 び、この一の宮めぐりも本格的に完成しようと考え始めた。

今年 5 月 5 日に栃木県下野國一の宮・日光二荒山神社 の御神体として崇められる男体山に登拝したことをもって、 全国一の宮巡拝を達成した。

この六年間を振り返ると、最初はスタンプラリーみたいな感じで始め、旅しながら知識が増え、最後の段階で岩木山を始め、一の宮の御神体山までたどり着き、とても不思議で貴重な体験をさせて頂いたのだと思った。

これから、この旅で学んだ「自然への崇敬、日々に感謝をする」という日本のこころと文化、日本の素晴らしさを外国人の目線で、国内外へ伝えて行きたいと思っています。 多くの方々が一の宮巡拝を達成できますように心よりお祈りしています。





山頂 奥宮における二荒山大神 (大国主命)

日光二荒山神社 奥宮 登拝〈霊峰男体山〉

平成27年8月1日

7月31日(金)23時頃から行われた男体山登拝講の大祭 式後、8月1日(土)午前0時に中宮祠の登拝門が開かれ霊 峰男体山を登拝して参りました。夜間登拝ができるのは、男体山登拝講大祭が開催される毎年8月1日から7日までの 期間だけの様です。今回は、初日で貴重なブルームーンの日とあって登拝者が大変多く、そのうえ後発だったために3合目まで大渋滞。4合目以後の渋滞も含めて登りで約5時間 半、通常よりも大幅に時間がかかってしまった。御来光は仰げず山頂手前で日の出を迎えた・・・山頂滞在は、奥宮での 御祈祷を含めて約2時間程でした。

奥宮御祈祷では皆様の巡拝成就をご祈願し、お神札と登拝之証を頂きました。その後、遠く富士山も見ることが出来る稀にみる好天の山頂で、多田権禰宜様から360度の景観を説明して頂きました。130年間山頂のシンボルとして風雪に耐えてきた神剣が折れて、復活した光り輝く宝剣を拝し

一等三角点を確認して山頂を後に降る。 特に登りの際、5 合目付近で中禅寺湖に映るブルームーンの満月が樹間から キラキラと輝き、水面に揺らぐ何とも言えない美しさを醸していた情景は心に刻まれた。まだまだ登ってくる登拝者も 多く、ゆっくりと下るが途中で右足膝を痛め登拝門まで約4 時間の大変厳しい道のりでした。

無事下山後、和氣権禰宜様のご配慮で温泉で体を清め、着替えをして、二荒山神社中宮祠の本殿内陣参入前の御祈祷に臨みました。玉串奉奠後いよいよ内陣参入の際は体中がぞくぞくするほどの神氣を受け三柱の御神像を拝させていただきました。唱へ詞の用紙を二つに折り曲げて口にくわえての奉拝は初めての経験でした。

貴重な体験をさせて頂き和氣様はじめ神職の方々に御 礼申し上げます。 代表世話人 塩原輝昭



二荒山·男体山 山頂奥宮 御朱印



二荒山神社 奥宮登拝之証



中宮祠本殿 参入唱へ詞



地原 解 好





◀ 男体山登拝祭 祈祷神璽





参

中宮祠神璽 男体山頂奥宮神璽

登拝講員 参拝之証

朱印帳巻末に完拝証明を 致します

[諸国一の宮巡拝成就の証] 発行について

全国一の宮102社(108 所) を巡る参拝の旅は、広大 無辺な御神徳を頂ける祈りの 旅でもあります。私たち巡拝 者に多くの事象を大自然の法 と共に、神と生きる道を教示

してくれる。何巡目になろうと、常に新鮮な御魂にな れる場所こそが、一の宮の聖地で在ろうと心得て 惟神の歩みを続けて頂きたいと存じます。

今回、諸国一の宮を完拝された会員を祝福させて頂 く証しのために『諸国一の宮巡拝成就』の記念御守 カード (右見本) を作製致しました。未会員の方はご 相談下さい。東京本部事務局で完拝の証明が出来た

方のみ、御希望 者には特別頒布 をさせて頂きま す。(但しお一人 様一組3,000 円、巡拝成就記 念お守り携帯



カード・完拝証状 完拝者名入 A5判)

☆お問い合わせは東京本部事務局まで。

Tel:03-5823-3901(月~金)13:00~17:00

(土・日・祝は休業です)

E-mail:junpai@alpst-net.co.jp



➡=うら面 〈90% 縮小〉 ★=表面



カード素材:ハイピカE2F ゴールド特種UV カラー印刷・ラミネート加工 仕上りの色は若干異なりま

於:琉球國一の宮 波上宮

全国一の宮会総会 報告

平成27年度 全国一の宮会 総会が沖縄・波上宮で9月7日 に行われました。巡拝会からは代表世話人塩原輝昭 他、各 地区世話人6名で参加させて頂きました。全国各地から参 集した一の宮神社の宮司様並びに随行者・巡拝会員併せ (総勢46名)の皆様と総会・講演会・懇親会と交流を深め させて頂きました。正式参拝の後、本殿裏手の聖地内へ案 内頂き・特別な拝所を拝見する事が出来た。本殿前で記念 写真を撮影後、27年度の総会が行われた。続いて「琉球の

大東亜戦争終結七十年慰霊祭 国立沖縄戦没者墓苑 平成27年9月8日

歴史」と題した講演会では高 良倉吉 琉球大学名誉教授様



総会場

の琉球祭祀を中心に、宗教状況と琉球祭祀の神社信仰と 仏教・御嶽信仰の神女組織と国家事業==神女達の深い祈 りや碑文が伝える事例を明解に語られ勉強になりました。 懇親会では琉球の食と歌と踊りに堪能し神職の皆様と和 やかな時間を過ごさせて頂きました。

翌8日は「大東亜戦争終結70年慰霊祭」が国立沖縄戦 没者墓苑で実施され、尊くも巡拝会から代表者が玉串奉奠 のお役を頂き、深甚なる祈りを奉げて参りました。不幸な激 戦地であった沖縄で、戦後70年の節目にあたる年に総会が 開かれた事は意義深いものがあったと思いますし、従来の 総会と違う感得を受けました。数多の犠牲者の御霊に改め て鎮魂の誠を祈らずには居れません。 事務局







左より千家尊祐様・新木直人会長 高良倉吉講師·新垣義夫様·鈴木 寛治常任理事



平成27年9月7日~8日

平成27年度 全国一の宮会 総会記念写真



左から村上・野島・塩原・ 北村·鶴田·大谷



好評頒布中

格式ある神社

士

社

准

勃祭社 東京近郊十一

*斐伊川和紙 拉二十二社 定価 東京近郊十二社 万万円

四 [国楮和紙 定価 二六千円

渋谷申博 著

定価一、八〇〇円(税·送料別

歩くろわれ二十二社 はかかれ東京近郊十二社

ご購入希望者は本部事務局まで

B5版 軽量で携帯に便利!墨書きに優れ、好評の和紙御朱印帳です。



●四国和紙・楮笹ヶ峰 本文白紙版 定価六千円(送料別)

頒布価格

各一、〇〇〇円(送料別

お問合わせ下さい。 宮巡拝会本部事務局へ ない場合は、左記一の お求め下さい。神社に 全国一の宮神社の社頭で ることは出来ません。



●四国和紙・楮笹ヶ峰 一の宮神社名・ご祭神名入り 定価七千円(送料別)

事務局で頒布しており、 尚、各公式ガイドブックは 多彩な情報が満載です

般の書店では購入す



◆斐伊川和紙(奥出雲・手漉き) 本文白紙版 定価一万三千円(送料別)



◆斐伊川和紙(奥出雲·手漉き) -の宮神社名・ご祭神名入り

定価一万五千円(送料別) 刊された公式ガイドブ

全国一の宮めぐり

「全国

一の宮会

編

公式ガイドブック

〒111-00五五

の宮巡拝会 本部事務局

東京都台東区三筋一―十二―十二(株)アルプス・タカス内

ら幸いです。 す。巡拝会発行の「全國 第五版となっておりま 合せて活用して頂けた の宮巡拝のすすめ」と 旅する一の宮 の宮めぐりをもっと気軽に旅するガイドブックとして

^ク一の宮めぐりは現在

;局(大和国一の宮大神神社内)で平成二十年十二月に発一の宮神社の神職で構成されている『全国一の宮会』事













新たに平成二十四年五月一日に発刊されました。一の宮神

社案内と合わせ、各神社周辺の観光スポットを紹介した

の宮神社と一の宮巡拝会本部

新 刊

諸国神社 宮・二宮・三宮



の宮巡拝会刊定価ニ、五〇〇円 別冊一の宮巡拝 会員価格二、〇〇〇円(送料別 の宮巡拝会編 特価一、〇〇〇円(送料別) 創刊号

信念の神道家 橘 三喜



「全國一の宮巡拝のすすめ」「全国一の宮神社所在地」をご希望の方は、送付先を明記の上、 送料分(1セット)切手360円(310円切手不可)を同封し、必ず封書で本部事務局へお申し込み下さい。

全国|の宮神社所在地 B3版横両面刷り (四ッ折B5サイズ仕上 (会員は無料

お志し

※常時受け賜ります。 薄謝謹呈

入会金及び会費について 賛助会費 一口 三〇〇〇円 (何口でも可) 般維持会員 年会費 三〇〇〇円

電話〇八〇-三二〇八-四八八一 FAX〇七二五-二二一四〇四〇

〒五九五−○○二四

大阪府泉大津市池浦町二一八 の宮巡拝会 関西事務局

个十七

髙寺 壽

FAX 〇三—三八六五

話

〇三一五八二三一三九〇

全國 (会員は無料

一の宮巡拝のすすめ